

第 2 回

全日本実業団剣道大会

と き 昭和 34 年 9 月 13 日 (日) 午前 9 時開始

ところ 大阪 市 中央 体育 館 (東区馬場町)

主 催	全 日 本 実 業 団 剣 道 連 盟
主 管	関 西 実 業 団 剣 道 連 盟
後 援	朝 日 新 聞 社 盟
	全 日 本 剣 道 連 盟
	大 阪 府 剣 道 連 盟

大会次第

開 会 式

(八、五〇)

1 役員・選手入場

2 開 会 宣 言

3 国旗掲揚(国歌斉唱)

4 挨拶

5 全日本実業団剣道連盟会長

矢野 一郎

6 祝 辞

7 選手宣誓

役員着席・選手退場

演 技

(九、三〇)

1 日本剣道形

2 居 合

3 試 合(一回戦・二回戦)

4 剣道特別試合

5 試 合(三回戦・五回戦)

6 準 決 勝 戦

7 決 勝 戦

閉 会 式

1 役員・選手整列

2 成 績 発 表

3 表 彰

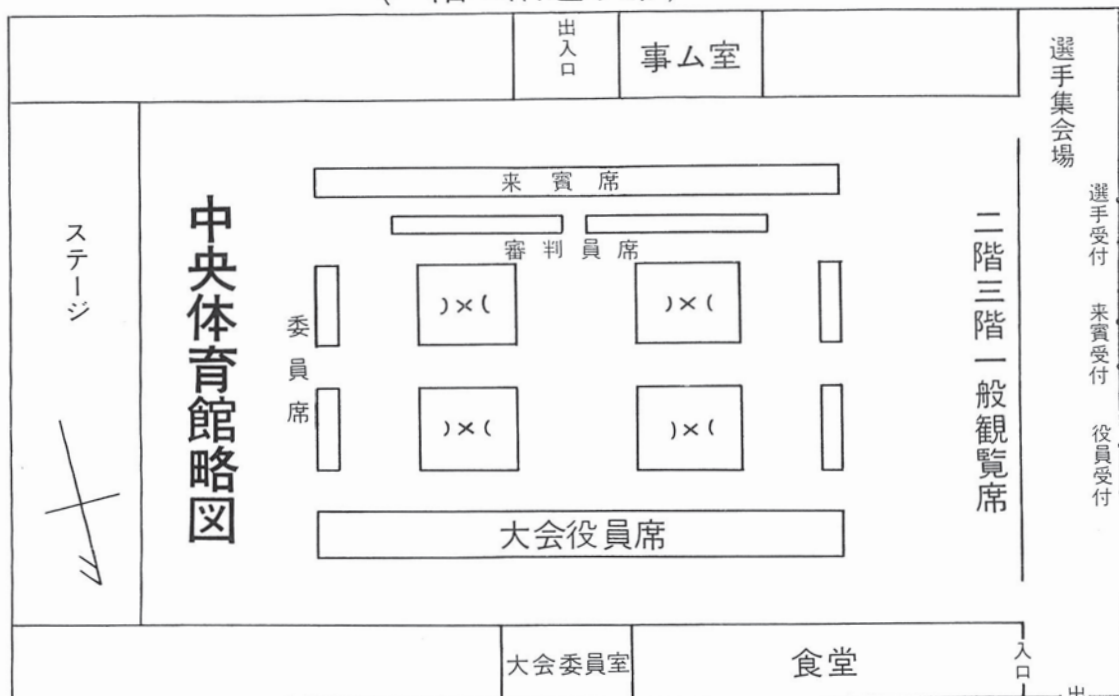
4 挨拶

5 国旗降下

6 閉 会 宣 言

7 役員・選手退場

(二階三階選手席)



(二階三階選手席)

挨拶

全日本実業団剣道連盟

会長 矢野 一郎



本日茲に全日本実業団剣道連盟の第二回全国大会を催すに当り、各方面の来賓各位の御臨席を賜わり、又全国より多数の熱心なる会員諸君の御参加を得ましたことを、厚く御礼申し上げます。

昨年は連盟結成後初の大会を東京に於て盛大に挙行致しましたが、その後連盟の基礎は着々固められ、今回は更に一層充実した内容をもって大会の幕をあげる次第であります。これは偏に各方面に於ける剣道愛護者諸氏の御援助の結果でありまして、衷心より感謝に堪えません。

今回の大会は、関西に於ける同志諸君の特別な御尽力によつて、万事順調に計劃を進めることが出来ました。又新設の大体育館を使用することが出来たことも誠に仕合せであります。

剣道界も逐年隆盛に赴いて居り、その間に於ける実業団剣道の使命も愈々重きを加えつゝあります。我々はこの道を以て、人間を作り、社会を向上せしむる精神力の根源と考えるものであり、行住座臥、俯仰進退、常に修養に努める信念を忘れぬものであります。

本日の大会には、日頃修養の精を示し、勝つことも負けることも、凡てが勉強であり、修業であることを、身を以て如実に示されんことを期待いたします。

終りに臨み、当大会開催に関し、特に御高配を賜りました大阪府、大阪市、及各方面の有力なる御後援に対し、連盟を代表して深甚なる謝意を表します。

又朝日新聞社及び全日本剣道連盟が前回に引続き特別な御援助を下さいましたことに対し、厚く御礼申上げる次第であります。何卒、この一日、午前午後により、当館一杯に気品あり、秩序ある、実業人剣道の精粹が華々しく展開されることを期待して、御挨拶と致します。

大会役員

順序不同

名誉顧問

内閣総理大臣 岸 信介
全日本剣道連盟会長 木村 篤太郎
全日本学生剣道連盟会長 笹 森 順造
朝日新聞社 取締役会長 村 山 長 孝

大会会長

全日本実業団剣道連盟会長 矢 野 一 郎
第一生命保険相互会社会長

大会副会長

日本繊維株式会社社長 坂 内 義 雄
住友化学工業株式会社専務 大 谷 一 雄
名古屋鉄道株式会社副社長 土 川 元 夫
三菱養和会理事長 杉 武 藤 秀 三
阪急百貨店株式会社社長 野 田 孝 三
南海放送株式会社社長 山 中 義 貞
三菱地所株式会社副社長 宮 田 正 夫

顧問

大 阪 府 知 事 左 藤 義 詮
大 阪 市 長 中 井 光 次
大阪商工会議所会頭 杉 道 助
大阪府警察本部長 熊 野 徳 次 郎
全国実業団体育連盟会長 安 西 正 夫

大阪府実業団体育協会会長 春日 弘
朝日新聞社取締役 益 田 豊 彦
全日本剣道連盟理事長 庄 子 宗 光
株式会社 高島屋社長 飯 田 慶 三
株式会社 十合社長 坂 内 義 雄
三菱製鋼(株)会長 李 家 孝
関西電力株式会社社長 太 田 正 郎
久保田鉄工株式会社社長 小 田 原 大 造
同和火災海上保険社長 岡 崎 真 一
京阪神急行電鉄(株)社長 和 田 薫
保土谷化学工業(株)社長 吉 田 一 郎
東洋レイヨン(株)相談役 唐 島 浅 彦
阪神電鉄株式会社社長 野 田 誠 三
日本生命保険相互会社社長 弘 世 現
川鉄商事株式会社社長 松 村 守 一
株式会社 大丸社長 北 沢 敬 二
株式会社 精工舎 取締役 服 部 武 三 郎
大辻炭鉄株式会社取締役 小 沢 親 光
日本鉱業株式会社取締役 河 合 堯 晴
株式会社三井銀行取締役 兄 玉 幸 藏
小西酒造株式会社常務 白 井 貫 二
南海電鉄(株)親和会理事長 高 尾 通 治
小川金之助 小 川 金 之 助

中野 宗 次
大 麻 次 郎
松井 松 次
堀 正 平
加藤 七左衛門
佐藤 忠 三
三 角 卯 三 郎
財 津 勝 一
森 山 泰 雄
小 城 満 隆
砂 金 石 之 助
足 立 純 三

大会参与
大阪府教育委員会教育長 浜 田 成 政
大阪府教育委員会教育長 中 尾 正 平
全日本剣道連盟事務局長 渡 辺 敏 雄
大阪府立体育会館長 岩 野 次 郎
大阪府保健体育課長 乾 正 人
大阪府体育課長 井 上 孝 之
国連協会事務局長 和 崎 嘉 之
大阪市中心体育館長 上 嶋 芳 武
朝日新聞社企画部長 勝 村 泰 三
朝日新聞社運動部長 杉 森 一
上田鉱業株式会社支店長 山 口 安 男
伊藤自動車貿易(株)社長 伊 藤 博 男
大和ガス器具株式会社社長 松 下 武 男
旭化成工業株式会社部長 中 沢 五 郎

審判長

小 川 金 之 助

審判員

持 田 盛 二
宮 崎 茂 三 郎
近 藤 知 善
津 崎 兼 敬
越 川 秀 之 介
四 戸 泰 助
東 山 健 之 助
大 森 小 四 郎
田 中 知 一
原 田 賢 藏
黒 住 龍 四 郎
吉 田 誠 宏
佐 々 木 季 邦
指 宿 鉄 盛
池 田 孝 盛
小 川 政 之
齊 藤 正 利
井 坂 賢 一 郎
井 上 正 孝
入 間 信 之 助
石 田 一 郎

線審

前田 勝 二 郎
安 原 守 規
松 川 武 堂
古 賀 恒 彦
小 松 章
名 創 要 一
森 弘

大会委員長

川鉄商事株式会社専務 石 本 広 一

大会副委員長

三菱化成株式会社支店長 星 野 一 雄
第一生命保険相互会社部長 谷 徹
朝日生命保険会社業務部長 山 本 欽 次
日本鉱業株式会社秘書室長 佐 々 木 陽 信
安田火災海上(株)業務部長 榎 本 和 男
南海電鉄株式会社親和会 福 田 耕 右 衛 門
名鉄百貨店営業部長 森 田 茂

大会委員

朝日新聞社企画部次長 吉 田 貞 栄
朝日新聞社企画部次長 近 藤 忠 二
株式会社阪急百貨店部長 仲 井 巖
朝日新聞社企画部 中 上 秀 一
朝日新聞社企画部 掛 越 正 男
朝日新聞社企画部 盛 野 三 利
全日本実業団剣道連盟 山 本 孝 行
事務局長 田 村 愛 一
関西実業団剣道連盟事務局長

総務委員

池 田 勇 治
六 反 田 俊 雄
長 谷 川 寿
額 田 長
奥 山 麟 之 助
長 田 為 吉
乙 藤 春 雄
岡 本 亮 三
渡 辺 敏 雄
和 崎 嘉 光
高 橋 忠 雄
上 田 博 吉
中 尾 巖
松 本 敏 夫
小 林 嶺 造
赤 本 豊
坂 本 吉 郎
佐 伯 太 郎
佐 藤 四 郎
岸 本 政 一
莊 司 源 吉

競技委員(印は長)

前田 勝 二 郎
安 原 守 規
松 川 武 堂
古 賀 恒 彦
小 松 章
名 創 要 一
森 弘
前田 勝 二 郎
安 原 守 規
松 川 武 堂
古 賀 恒 彦
鳥 飼 清 吉
嘉 本 正 吉
岩 田 達 明
三 好 晃
永 井 泰
小 松 尚 介
井 上 勉
須 藤 義 信
芝 本 哲 男
田 村 照 国
楠 田 兼 也
奥 谷 勝 彦



貝島炭硯株式会社

代表取締役 貝島太市

○ 資本金 参億参千万円
○ 本社並ニ支店福岡、若松、大阪、名古屋、東京

進行係

選手係

会場係

③ 大平田育宏	磯田武	矢木司孝	柳仁雄	② 小松謙一	西本正彦	北野幸男	山本直孝	① 森弘	古久保一男	武友良祐	中曾根武男	北田英一	吉田英治	○ 山内高市	上田修禎	於保悠二	管本紀夫	宇野允宏	○ 竹越元宏	岸田稔一	柴田英一郎
---------	-----	------	-----	--------	------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	--------	------	------	------	------	--------	------	-------

採点記録係

富田孝雄	坂根憲	岸田武久	岩月忠保	福井英明	野本敏一	塚田康策	竹峰征治	保田芳啓	中沢潔	島田智行	伊藤結男	塚田康弼	菱田収	小川幸男	小島祥伍	○ 多田季代一	塚原敬一	藤原辰雄	石原宏	千野義寿	村山人章	宮崎誠介	宮脇研一
------	-----	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	-----	------	------	---------	------	------	-----	------	------	------	------

計時係

○ 須槍脩	山田宜邦	瀬戸義直	長木稔	春木久治	武藤和伸	山本雅祥	○ 稲生則弘	井上宜昌	今長義文	齊藤辰行	橋本由公信	山田哲	接待係	小松章	鶴崎稔	女子三名	○ 名剣要一	長野文雄	松川武堂	放送係
-------	------	------	-----	------	------	------	--------	------	------	------	-------	-----	-----	-----	-----	------	--------	------	------	-----

特別出演者

一、日本剣道形
打太刀 九段範士 津崎兼敬
仕太刀 九段範士 越川秀之介
一、長谷川英信流居合
株式会社阪急百貨店社長 野田孝

前年度大会優勝

第一回全日本実業団剣道大会(東京)
優勝 東洋レィオン名古屋工場
第二位 三井金属三池鋳業所
第三位 旭化成延岡工場
" 日本通運

名 (愛知)	鉄 (大坂)	三井金 (福岡)	合同シャトル (大阪)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 20 19 18 32 31 33	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 34 28 34 38 34 40	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 21 32 39 39 34	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 21 32 39 39 34
清山牧県神杉 木瀬野谷山 達義昭孝 郎弘範太三雄	久江野高緒河 木浦中塩方島 正茂邦一 正美喜廉夫六	有泉平里横石 本谷松井山崎 育節正重 勲幸昇夫一男	有泉平里横石 本谷松井山崎 育節正重 勲幸昇夫一男
41	40	34	34
松田商店 (大阪)	杉田製線 (東京)	平和相互銀行本店 (東京)	大鉄工業 (大阪)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 35 35 36 33 37 39	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 32 44 25 45 41 45	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 33 19 20 34 45 39	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 31 36 46 38 42 54
竹和福井淡松 中泉田上井田 三正源一健 喜男信治清郎次	渡柳片渡杉沢 辺沢桐辺田井 丈利達光岩 誠吉和良治吉	築和蔭角前福 館田山田田山 勝幸盛清 彦雄久信博隆	伊仲川米中二 藤野西田野宮 幸昭清行常菊 男二三臣男藏
39	45	41	46
東京証券 (東京)	西銀 (福岡)	日鋼川鉄 (神奈川)	窯業セメント (大阪)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 38 36 32 35 36 33	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 21 35 34 36 37 43	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 32 36 35 36 43 40	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 32 33 31 37 36
吉齊作山田鎌 岡藤田崎中田 和一省 一夫悟忠要一	藤白藤浜村内 多木井越田 靖清安 男誠勝人男正	樋樋土寺佐角 口高屋井藤田 宗野米信喜利 則市郎男作生	前笠横佐花 村井山藤城 隆智寛震清 弘一一郎文
43	43	55	39
横浜ゴム (東京)	南光印刷 (愛知)	阪急百貨店 (大阪)	東京電力 (東京)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 38 37 23 37 37 34	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 16 18 18 17 38 40	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 22 23 24 40 41 42	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 36 38 39 37 35 52
反篁高德長田 町田原川川島 利達勝豪俊次 政郎美英雄男	石後鈴山山市 田藤村田崎川 直勲欽大嘉 行男彦機勇一	上井石坪谷安 田上井川口保 弘正宏嘉 尚一武義雄臣	中伴白高鈴横 山石山木山 信善猛永 尚幹聰実雄十
40	40	46	47

全日本実業団剣道大会									
全日本実業団剣道盟連主催									
栄冠を目ざす									
86 チーム の 横 顔									
大鉄工業 (大阪)	東レ本社 (東京)	日本通運 (東京)	小佐野順光 (大阪)	佐々木豊彦 (東京)	河山中柿齋新 (東京)	伊仲川米中二 (大阪)	藤野西田野宮 (大阪)	幸昭清行常菊 (大阪)	男二三臣男藏 (大阪)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 31 36 46 38 42 54	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 38 47 48 50 47	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 43 37 35 34 36 51	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 46	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 42	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 51	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 31 36 46 38 42 54	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 31 36 46 38 42 54	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 31 36 46 38 42 54	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 31 36 46 38 42 54
伊仲川米中二 藤野西田野宮 幸昭清行常菊 男二三臣男藏	佐々木豊彦 仙弘健敏 太郎一一弘夫	河山中柿齋新 込田島内藤井 喜松俊正正重 一華郎司寿雄	小佐野順光	佐々木豊彦	河山中柿齋新 込田島内藤井 喜松俊正正重 一華郎司寿雄	伊仲川米中二 藤野西田野宮 幸昭清行常菊 男二三臣男藏	藤野西田野宮 幸昭清行常菊 男二三臣男藏	幸昭清行常菊 男二三臣男藏	男二三臣男藏
46	42	51	46	42	51	46	42	46	46
窯業セメント (大阪)	電通会 (東京)	トヨタ自動車 (愛知)	山口俊平 (大阪)	宮石渡片三堤 (東京)	加芳船山巻宮 (東京)	前笠横佐花 (大阪)	村井山藤城 (大阪)	隆智寛震清 (大阪)	弘一一郎文 (大阪)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 32 33 31 37 36	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 38 34 41 35 36 36	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 28 19 19 22 24 36	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 39	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 36	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 38	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 32 33 31 37 36	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 32 33 31 37 36	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 32 33 31 37 36	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 32 33 31 37 36
前笠横佐花 村井山藤城 隆智寛震清 弘一一郎文	宮石渡片三堤 崎黒辺桐谷 友律末保与正 人郎松之司夫之	加芳船山巻宮 藤賀井木島崎 英一英袈裟雄 男実二巖雄	山口俊平	宮石渡片三堤 崎黒辺桐谷 友律末保与正 人郎松之司夫之	加芳船山巻宮 藤賀井木島崎 英一英袈裟雄 男実二巖雄	前笠横佐花 村井山藤城 隆智寛震清 弘一一郎文	村井山藤城 隆智寛震清 弘一一郎文	隆智寛震清 弘一一郎文	弘一一郎文
39	36	38	39	36	38	39	36	39	36
東京電力 (東京)	川崎製鉄荳合 (兵庫)	住友化学 (大阪)	渡辺吉孝 (大阪)	浜逆宇石上脇 (大阪)	末石福山丸土 (大阪)	中伴白高鈴横 (大阪)	山石山木山 (大阪)	信善猛永 (大阪)	尚幹聰実雄十 (大阪)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 36 38 39 37 35 52	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 33 39 40 38 41 36	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 35 34 32 35 32 37	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 47	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 51	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 50	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 36 38 39 37 35 52	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 36 38 39 37 35 52	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 36 38 39 37 35 52	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 36 38 39 37 35 52
中伴白高鈴横 山石山木山 信善猛永 尚幹聰実雄十	浜逆宇石上脇 野瀬川田田村田 元益明光 勉渡治夫一則	末石福山丸土 房合田田川井 浩米政泰秀 道肇藏男生夫	渡辺吉孝	浜逆宇石上脇 野瀬川田田村田 元益明光 勉渡治夫一則	末石福山丸土 房合田田川井 浩米政泰秀 道肇藏男生夫	中伴白高鈴横 山石山木山 信善猛永 尚幹聰実雄十	山石山木山 信善猛永 尚幹聰実雄十	信善猛永 尚幹聰実雄十	尚幹聰実雄十
47	51	50	47	51	50	47	51	47	47

住友化学新居浜 (愛媛)	久保田鉄工 (大阪)	丸梅剣友会 (東京)	監督 古岡守三 51	監督 伊集院正 51	監督 山本恵造 37
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 越藤白山高浜 智田石中橋野 文守益満清 世也郎徳実一 37 25 36 46 42 46	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 岡井藤西の国 本関保川場代 一忠路幹貞 勇孝男繁吾義 33 33 34 73 43 43	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 陣大金中小山 野塚子山原本 平正章俊恵 八郎健三守郎造 35 29 31 21 38 37	監督 古岡守三 51	監督 伊集院正 51	監督 山本恵造 37
朝日生命 (東京)	和歌山電気 (和歌山)	東レ名古屋 (愛知)	監督 岡本正之助 51	監督 岩崎四郎 45	監督 山崎三代治 36
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 大岩山森大和 井崎田山島泉 幸好亮宏太猛 枝厳数佳郎 34 18 38 43 42 43	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 橋守上竹山小 本道山井本畑 修英支高 行大茂征泰雄 23 21 19 18 33 33	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 新松木立齋松 美本村松藤本 健治敏 一武弘勇豊男 19 21 24 37 20 31	監督 岡本正之助 51	監督 岩崎四郎 45	監督 山崎三代治 36
日本鉦業 (東京)	富士製鉄 (兵庫)	江商 (大阪)	監督 藤田武雄 45	監督 岩崎四郎 45	監督 山崎三代治 36
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 富石本本和村 田川多多田井 正順利国正正 二二夫雄正正 45 31 35 33 33 37	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 大黒青岡大井 原田木村久内 洋倫正道保正 一昌吉大茂之 19 19 41 35 35 45	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 川田宮宮阿中 井子島本部西 忠八信 周清隆顕郎雄 29 39 33 40 32 41	監督 藤田武雄 45	監督 岩崎四郎 45	監督 山崎三代治 36
富士伸銅 (大阪)	朝日新聞東京本社 (東京)	東芝富士 (静岡)	監督 古野幸雄 45	監督 伊藤余三 52	監督 逆井高雄 41
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 三谷田相大新 場口中田槻田 信雅秀正二繁 二次世志郎徳 37 36 34 34 39 49	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 西山大小壺渡 村下野池岐辺 盛出信健礼 義勇穂行志輔 53 29 32 45 34 44	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 市佐遠斧芦依 川野藤田川田 光増保計捨 雄雄豊男源已 40 33 19 32 33 38	監督 古野幸雄 45	監督 伊藤余三 52	監督 逆井高雄 41

旭化成延岡支社 (宮崎)	監督 五段 土 福山益夫 44	全東燃 (和歌山)	監督 二段 齋藤信 36	菊水テーブ (大阪)	監督 四段 西沢利雄 46
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 川峰高桑鉦多 本橋原原田 久幸彰哲勝植 平男郎明美作 35 36 21 20 32 38		補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 柿藤桜田久柴 元元田尻保田 治富士滝善 雄士曜彦次勲吉 20 19 35 34 31 34		補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 栗山西西白伊 栖畑沢沢井藤 阿威利袈一龍 道磨雄炎人男太郎 19 20 46 39 32 34	
神戸製鋼 (兵庫)	監督 四段 奥村三郎 46	丸善石油 (大阪)	監督 小林次郎 44	塚本総業 (東京)	監督 五段 塚本清 53
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 直朝加徳高岡 江永田永嶋本 義和政忠恵正 弘郎男一次次 42 30 41 32 39 43		補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 高藤中志小山 晶田野村林田 吾希盛正 理郎文弥清治 18 24 35 37 35 39		補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 増飯春神伊岩 田伏山戸賀崎 岬義善信豊豊 夫盛良一一晴 31 33 44 33 32 58	
大丸神戸店 (兵庫)	監督 二段 服部正夫 50	西部扶桑 (大阪)	監督 吉本治夫 41	大成建設 (東京)	監督 五段 鈴木孝太郎 53
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 俵藤川井森 井上口田 義栄永五三 治一央郎治 22 20 32 49 47		補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 小和上脇長大 出田嶋田倉限 一真磐芳準幾久馬 郎親彦夫一 55 22 22 45 22 45		補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 牛武今渡五武 島田吉辺反内 昭善清瑞栄克三 夫之一正一郎 30 33 33 34 35 47	
朝日新聞大阪本社 (大阪)	監督 五段 岡野実 51	新三菱神戸 (兵庫)	監督 五段 土 植田稔 41	昭和電工本社 (東京)	監督 四段 井上徹 34
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 神脇下野弘近 田村村末藤 博昭一正正普 光成三辰彦一郎 35 32 31 43 40 44		補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 岡藪山谷小矢 本本田沢林木 昌峻良礼 勲祐義淳平一 30 36 21 31 42 43		補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 佐倉小鹿齋 野持西島藤 定又康清 己男淳雄次 40 45 35 40 36	

島津製作所 (京都) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 難三井松佐大 喉好上本藤隅 嘉富義精次六 作士虎一雄造 45 34 44 43 40 43	P.L.ゴルフ (大阪) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 高川長田千 橋上友中原 一宏一真 二助男正胤 20 18 53 50 42	住友化学菊本 (愛媛) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 山福田高矢木 下井村橋野下 実豊照広喜十 敏次夫延雄郎 36 27 33 33 39 43	監督 千原真胤 42	監督 老田久弥 41
九州電力 (福岡) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 田西崎山山中 中村永口本根 照守信博太平 生二義司郎治 30 34 35 36 40 41	川鉄商事 (兵庫) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 難谷直鈴島 波本井木田 明元喜一 治敏昭焉郎 20 25 34 45 47	石川島芝浦タービン (神奈川) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 月貫会川山茨 黒井田田本野 真一敏秀 二雄猛郎一雄 20 35 36 38 42 42	監督 島田喜一郎 36	監督 萩野秀雄 40
伊藤忠 (大阪) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 藤松郡大富江 長居原重頭 徳幸啓一新正 春雄次善郎明 28 30 18 34 35 37	東横 (東京) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 中関浅佐大佐 田谷沼藤沼藤 祐三功 茂恒祐吾喜男 20 19 21 19 20 21	東芝三重 (三重) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 橋辻服山町野 本部中田中 一道昭賢琢定 夫夫三一磨男 29 34 30 34 34 39	監督 山口彰市 33	監督 久保田貞夫 48
旭化成薬品 (宮崎) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 甲手申藤田泰 斐島島田中 富純哲昌孝 嘉郎斌夫穂忠 28 22 20 22 26 37	川崎車輛 (兵庫) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 平安高長田高 山政橋井中田 春和幸憲勝 夫彦延夫夫成 47 32 46 40 42 41	日本鋼管 (静岡) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 安佐紅浦青鈴 部野林田島木 道隆 信雄勲宏淳 22 21 39 42 39	監督 前田鶴夫 64	監督 松浦隆義 55

日本火災 (東京) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 星早馬光吉葛 野野場藤田葉 光慎久元忠正 男三男哉幸一 25 30 38 24 44 53	監督 葛葉正一 53	車ノ愛知 (愛知) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 真犬首鈴川近 下銅藤木口藤 鋭忠清大鋭常 三男治丈一郎 22 22 20 21 30 31	監督 吉丸健一 48	三井三池鋳業所 (福岡) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 渡久河古宮 辺保田口庄崎 正哲節盛賢 則良喜真一 33 32 30 32 31	監督 宮崎賢一 31
千代田化工建設 (東京) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 加松野乙大室 藤田正川多井 幸光豊幸久正 濡明稔一美基 38 19 33 47 60 52	監督 室井正基 52	神戸銀行 (兵庫) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 川野河藤西工 端下村原中藤 雅睦忠健喜八 幸夫治郎郎篤 20 19 36 37 37 38	監督 山沢敏夫 40	松下電子工業 (大阪) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 山森竹今中藤 形中岡川本 重健隆奈鉄 夫一司治巖也 29 17 26 26 26 26	監督 山沢敏夫 40
日立本社 (東京) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 田西古柿佐厚 中村浪内藤母 正肇健宏伊太 五生吉敏哉郎 23 24 38 33 32 38	監督 厚母太郎 38	八幡製鉄所 (福岡) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 松臼萩坂檜天 村井原田原野 秀七義善昌 樹郎弘文馨威 19 18 19 34 37 42	監督 佐伯太郎 43	日本生命 (大阪) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 千田木武山宮 葉村下中本地 勝利 繁美信正登誠 23 35 32 19 38 38	監督 綾部輝 53
ビクターオート (埼玉) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 土定落鮫鹿太 屋京合島島田 好春増与治三 男雄治三司郎 28 31 34 39 38 31	監督 田村富二 30	倉敷レイヨン (岡山) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 井正山谷藤滝 上影本本井沢 一大太明良 郎夫郎三昇平 21 24 23 23 28 40	監督 原精一 51	高島屋 (大阪) 補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 宇山増大岸田 佐前山島本中 美重英昇政 尚勇彦晴市吉 29 34 21 38 48 43	監督 内田仙郎 47

N B C 吳造船 (広島)						三菱化成黒崎 (福岡)						東レ滋賀 (滋賀)						賀					
補欠	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補欠	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補欠	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補欠	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
山	山	竹	松	真	竹	井	下	清	平	川	嶽	清	村	板	幡	磯	大	清	村	板	幡	磯	大
下	口	元	野	鍋	原	園	川	永	野	崎		水	端	垣	川	村	前	水	端	垣	川	村	前
東	隆	末	光		省	達	謙		重			浪	義	誉	良	源	太郎	浪	義	誉	良	源	太郎
光	男	男	春	宏	吾	大	藏	通	肇	光	操	司	彦	美	男	彰		司	彦	美	男	彰	
22	36	21	37	37	47	33	39	36	35	41	40	19	31	19	19	23	29	19	31	19	19	23	29
						住友鋳山 (愛媛)						宇部興産 (山口)						旭物産 (大阪)					
						補欠	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補欠	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補欠	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
						伊	白	波	藤	長	森	中	島	山	陶	小	津	大	岡	久	香	島	杉
						藤	石	片	田	内	川	本	津	本	山	田	脇	垣	本	保	西	川	村
						照	篤	正	博	晴	竜	秀	守	昭	京	秀		秀	守	昭	京	秀	
						大	美	郎	道	雄	一	江	治	茂	光	介	夫	夫	雄	一	郎	晃	雄
						34	35	37	37	48	43	37	19	39	31	37	38	33	19	20	30	19	39

MEMO

敷島紡績 (大阪)						平和相互銀行 巢鴨 (東京)						シモン皮革 (東京)						利岡和人					
監督 松本良 39						監督 田国雄 44						監督 利岡和人 45						監督 利岡和人 45					
大 松 本 良 淳 副 土 屋 次 男 中 緒 方 春 雄 四 段 堅 五 段 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 青 柳 尚 忠 康 副 豐 島 敬 中 淺 野 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 針 金 庸 夫 人 副 藤 井 達 雄 中 小 林 喜 市 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 岡 和 人 副 金 達 夫 中 井 喜 市 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段					
22 39 39 36 46						18 19 21 35 21 40						32 20 28 30 47 45											
旭物産 (大阪)						第一生命 (東京)						播磨造船所 (兵庫)						龍野邦人					
監督 稲垣信夫 38						監督 谷 徹 46						監督 龍野邦人 47						監督 龍野邦人 47					
大 杉 村 秀 雄 副 島 川 晃 中 西 京 二 郎 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 三 浦 泰 治 副 二 方 久 雄 中 奧 野 義 朗 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 菰 方 夏 美 副 岡 中 田 主 中 田 古 清 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 龍 野 邦 人 副 龍 野 邦 人 中 龍 野 邦 人 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段					
33 19 20 30 19 39						27 29 28 38 50						37 36 33 35 37 32											
森下仁丹 (大阪)						同和鋳業 (東京)						小西酒造 (兵庫)						鶴野栄一					
監督 上野治 28						監督 石川正次郎 46						監督 鶴野栄一 43						監督 鶴野栄一 43					
大 森 下 清 泰 副 稲 垣 清 平 中 三 戸 讓 治 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 高 橋 次 郎 副 川 村 雄 郎 中 室 山 卓 二 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 本 崎 杉 男 勇 副 花 本 肆 郎 中 鹿 島 肆 郎 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 鶴 野 栄 一 副 鶴 野 栄 一 中 鶴 野 栄 一 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段					
20 24 35 25 35 38						42 38 41 38 36 54						21 18 19 32 20 37											
揖斐川電工 (岐阜)						鈴江農機 (高知)						三井金属 申木野 (鹿児島)						迫田義満					
監督 野村高次 53						監督 小松政弘 39						監督 迫田義満 42						監督 迫田義満 42					
大 和 田 榮 太 郎 副 安 藤 文 夫 中 藏 本 雅 太 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 川 田 茂 安 副 竹 田 信 久 中 橋 本 国 雄 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 海 保 治 義 満 副 大 村 純 久 中 肝 付 芳 千 代 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段						大 迫 田 義 満 副 海 保 治 義 満 中 肝 付 芳 千 代 四 段 堅 五 段 五 段 先 鋒 次 鋒 補 欠 段 段					
44 32 30 36 33 39						34 22 34 33 32 34						21 32 34 38 48 42											

第2回 全日本実業団

(第一試合場)

日本通運(東京)	1	一回 二回
東レ本社(〃)	2	7 三回
大鉄工業(大阪)	3	1
トヨタ自動車(愛知)	4	15 四回
電通(東京)	5	2
大阪窯業セメント(大阪)	6	8
住友化学本社(〃)	7	19 五回
川崎製鉄荳合(兵庫)	8	9
東京電力(東京)	9	16
合同シヤトル(大阪)	10	10
三井金属三池(福岡)	11	3
名鉄(愛知)	12	21
平和相互本社(東京)	13	4
杉田製線(〃)	14	11
松田商店(大阪)	15	17
日本鋼管川崎(神奈川)	16	12
西日本相互銀行(福岡)	17	20
東京証券(東京)	18	13
阪急百貨店(大阪)	19	5
南光印刷(愛知)	20	18
横浜ゴム(東京)	21	6
菊水テープ(大阪)	22	14

(第二試合場)

東亜燃料(和歌山)	1	6
旭化成延岡(宮崎)	2	1
塚本総業(東京)	3	14
丸善石油(大阪)	4	2
神戸製鋼(兵庫)	5	7
大成建設(東京)	6	18
西部扶桑機工(大阪)	7	8
大丸神戸店(兵庫)	8	15
昭和電工(東京)	9	9
新三菱重工業(兵庫)	10	3
朝日新聞大阪(大阪)	11	20
山本海苔店(東京)	12	10
久保田鉄工(大阪)	13	16
住化新居浜(愛媛)	14	11
東レ名古屋(愛知)	15	19
和歌山電軌(和歌山)	16	12
朝日生命(東京)	17	4
江商(大阪)	18	17
富士製鉄(広島)(兵庫)	19	5
日本鋳業(東京)	20	13
東芝富士(静岡)	21	

準決勝

決

剣道大会組合せ表

勝

準決勝

三回	一回 二回	1 (東京) 朝日新聞東京
四回	7	2 (大阪) 富士伸銅
五回	15	3 (福岡) 三井鋳山三池
	8	4 (愛知) 東レ愛知
	2	5 (東京) 日本火災海上
	9	6 (大阪) 松下電子工業
	16	7 (兵庫) 神戸銀行
	10	8 (東京) 千代田化工
	3	9 (大阪) 日本生命
	11	10 (福岡) 八幡製鉄
	4	11 (東京) 日立製作所本社
	12	12 (大阪) 高島屋
	13	13 (岡山) 倉敷レイヨン
	14	14 (埼玉) ビクターオート
	15	15 (愛媛) 住化菊本
	16	16 (大阪) P L ゴルフ
	17	17 (京都) 島津製作所
	18	18 (神奈川) 石川島芝浦タービン
	5	19 (兵庫) 川鉄商事
	6	20 (福岡) 九州電力
	14	21 (三重) 東芝三重
		22 (東京) 東横百貨店

(第三試合場)

6	1 (大阪) 伊藤忠商事
1	2 (静岡) 日本鋼管清水
14	3 (兵庫) 川崎車輻
7	4 (宮崎) 旭化成薬品
2	5 (東京) シモン皮革
8	6 (東京) 平和相互果鴨
15	7 (大阪) 敷島紡績
9	8 (兵庫) 播磨造船
3	9 (東京) 第一生命
10	10 (大阪) 旭物産
11	11 (兵庫) 小西酒造
12	12 (東京) 同和鋳業
13	13 (大阪) 森下仁丹
11	14 (鹿児島) 三井金属串本野
12	15 (高知) 鈴江農機
4	16 (岐阜) 掛斐川電工
5	17 (滋賀) 東レ滋賀
13	18 (福岡) 三菱化成黒崎
	19 (広島) N B C 呉造船
	20 (山口) 宇部興産
	21 (愛媛) 住友金属(別子)

(第四試合場)



亀田の剣道具

柔道衣

60年の信用の店

防衛庁・警察庁・全国都道府県警察本部・御用達

亀田武道具株式会社

東区谷町三丁目電停南入ル半丁

電話 ㉔ 1591・6443

創業58年の信用

・第一生命は明治35年9月 矢野恒太の主唱によって わが国最初の相互組織の保険会社として設立されました

・以来約60年 常に「量より質」「確実 低廉 親切」をモットーとし 契約者(社員)の利益を第一として 経営してまいりました

・この趣旨は 幸い各方面のご共鳴とご支援を得て 業界の革新に役立つとともに 社業は発展の一途をたどり 今日ではわが国の代表的保険会社として 広くその名をうたわれるにいたりました

第一生命

本社 東京都千代田区有楽町1丁目
電話 東京(28) 代表 0341・1211・1221

祈 御 健 闘



剣道具 寸法により別誂調製
名人「旦善」の 甲 手

剣道具・薙刀道具・柔道衣
拳法防具・相撲褌・空手衣
居合用真剣・刀剣研・拵

製造直売
承 り

明倫産業株式会社

本社 大阪市天王寺区生玉町七一
(但シ 上六ヨリ西行四百米谷九電停前)

電話 ㉔ 3026番



大阪一うまい

Coffee

朝7時より

トモヤ珈琲店

なんばしんち 3 TEL(75)3267

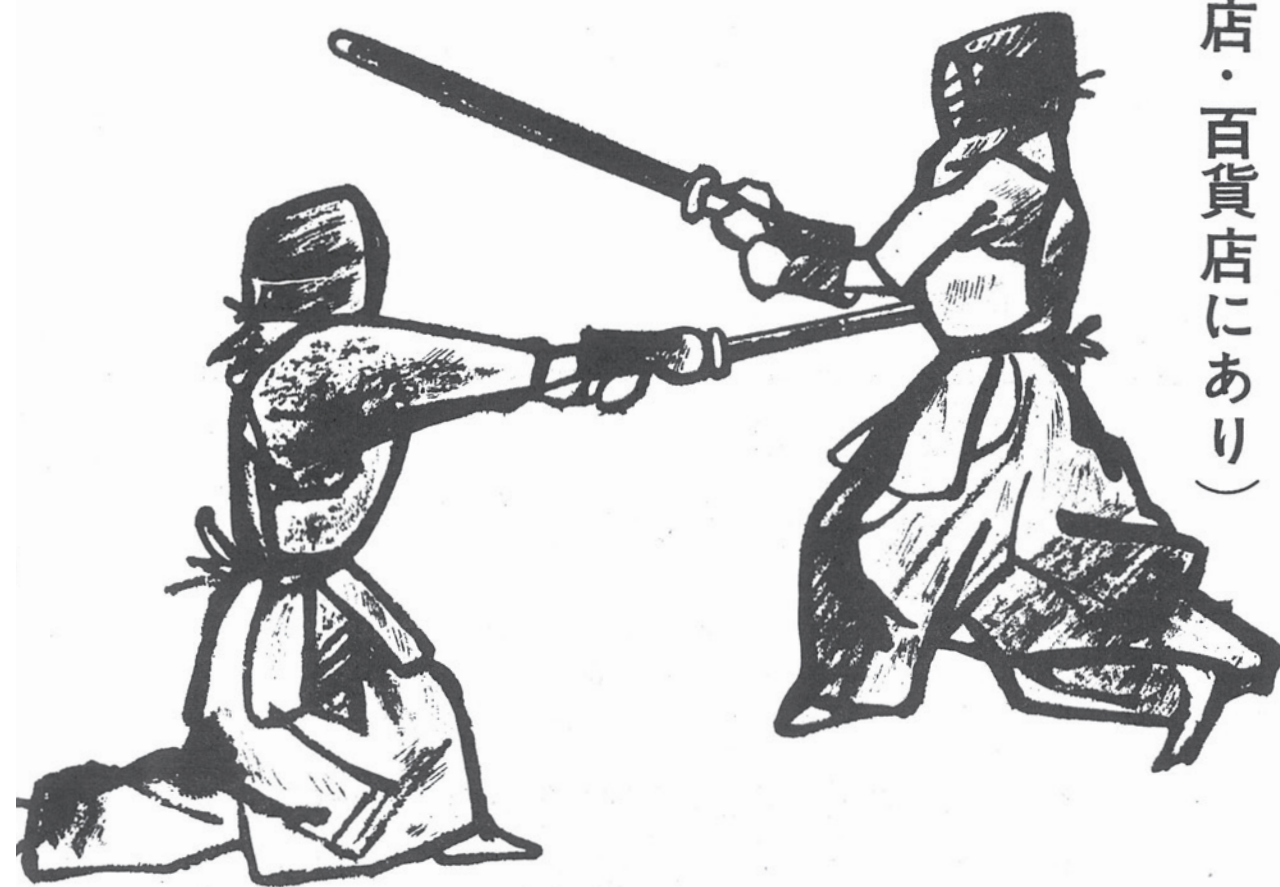
完璧の九櫻印



剣道具

柔道衣

(全国有名運動具店・百貨店にあり)



全国諸官庁・学校・学校・諸団体御用達

早川繊維工業株式会社

大阪支店

大阪市南区高津四番丁23 電話 南(75) 7266・4582 番

第二回 全日本実業団剣道大会

御盛会を祈ります



森下仁丹株式会社
仁丹体温計株式会社

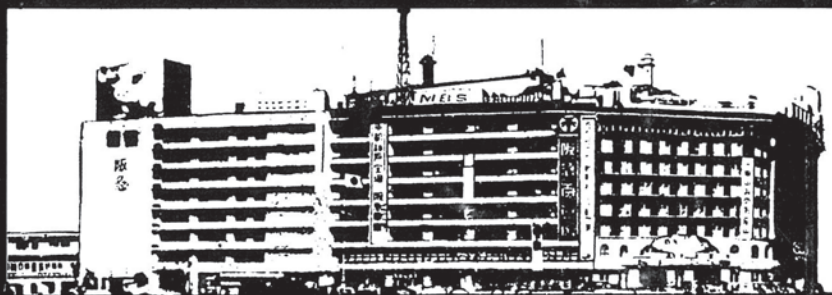
社長 森下 泰

総合保健薬仁丹：スポーツの疲れをふきとばす清涼感と薬効

仁丹体温計：優秀な品質の仁丹体温計で正確な検温を

仁丹歯磨：清潔な笑顔の魅力は虫歯を防ぐ仁丹歯磨から

仁丹ガム：おいしさだけではなく新鮮な香りが魅力



皆さまに 親しまれて
大きくなった阪急百貨店
過去も 現在も
そして これからも
サービス本位の阪急！



大阪梅田本店
天満橋支店
神戸支店
東京大井店
数寄屋橋店

阪急